



旬の風 217号 (2020年5月)

春は新たなスタートが始まる月ですが、新型コロナウイルスの影響で、子ども達や社会人にとって歯切れの悪いスタートになってしまいました。しかし、家族又は個人の時間を味わえる貴重な時間だと感じ、毎日を大切に過ごしています。

私にとってのスタートは、新たな気持ちでの始まりとなりました。私は旬に入ってもうじき9年目になりますが、実を言うとワーカーズという働き方に戸惑いを感じ、負担になり、自分には向いてないと感じていました。特にこのところの更年期もあり、心の余裕がなくなっていました。しかし新しい気持ちに切り替えたとき、しんどいと思っていたことも全て自分のいい人生経験になっていたと気が付きました。そしてこの働き方だからこそ、共に協力できる大切な仲間がいるということに気が付きました。これからは旬を通して自分を成長させていきたいと思います。旬の皆様にご指導頂きながら共に協力し、一人ひとりが生き生きと働ける場であるように努めて行きたいと思います。

(変なおばさん)

☆ 今月のメニュー担当より ☆

旬では、3月から浦和の調神社前にOPENした生活クラブデポーのお店にお弁当を卸しています。生活クラブの要望と旬の新しい試みが相まって、使い捨て容器とカップは紙製、割箸はひのき間伐材のエコ使用となっています。今迄の使い捨て弁当箱とはちがい、容器が腰高で仕切りがないのでおいしそうに見えるようにご飯やおかずの入れ方に気を使いながらちょっと大変、ちょっと楽しい気分で作業しています。

さて、5月の「お楽しみの日」は豆御飯です。

グリンピースは出回る時期が限定され、温暖化の影響で何でも

早くなっているの、当日あるか否か心配しつつ私の好物でまとめた日です。

